

国際人的ネットワークの強化 海上犯罪取締りにかかる自国の課題解決に活かす

国際協力機構（JICA）は海上保安庁と連携し、技術協力事業である研修プログラム「海上犯罪取締り」コースに 12 か国の海上保安分野実務担当者 17 名を招へいし、6 月 18 日より JICA 横浜センターで研修を実施しています。

参加者は、アジア及びソマリア海賊対策をはじめとする海上犯罪取締りに必要な知識・技術を講義、視察、実習を通して学びます。また、包括的な海賊対策や国際法に関する講義、薬物、密輸、人身売買への対策を参加型で議論する机上訓練、航空基地への視察、不審船等検査、鑑識の実技訓練など、海上での法執行能力強化に繋がる科目を多く含む研修プログラムとなっています。

本研修を通じ、参加国の海上保安体制や海上保安組織に所属する職員の能力を強化し、国際人的ネットワークが強化され、『自由で開かれたインド太平洋（FOIP）』構想の下、地域の平和と安定に貢献することが期待されています。

取材をご希望の場合は、下記問い合わせ先までご連絡をお願いいたします。また、研修期間中は英語への逐次通訳が同行しておりますので、研修員への個別インタビューも可能です。

<研修概要>

研修コース名：2023 年度課題別研修「海上犯罪取締り」

研修期間：2023 年 6 月 18 日～2023 年 7 月 26 日

研修参加者：17 名（海上保安分野職員）

研修参加国：インドネシア、サモア、ジブチ、ソロモン、パプアニューギニア、東ティモール、フィリピン、ナイジェリア、マレーシア、ミクロネシア、モルディブ、モザンビーク

<主な研修訪問予定先>

海上保安庁 表敬（7/3）

海上保安庁第三管区横浜海上防災基地 制圧法実習（7/5）

海上保安庁第三管区横須賀海上保安部 巡視船見学（7/6）

海上保安大学校（7/11～14）

海上保安庁第三管区羽田航空基地 視察（7/20）

など

別添：海上保安庁 プレスリリース

【本件に関する問い合わせ先】	
JICA 横浜 研修業務課 担当：片山 TEL:045-663-3221 FAX:045-663-3265 MOB:080-7138-5490 e-mail: Katayama.Motoko@jica.go.jp	JICA 横浜 JICA 横浜ウェブサイト https://www.jica.go.jp/yokohama/